

科目名 (科目番号)	人体の構造 (073112)	教員名 澤田和彦	学科等	看護	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	金3～5	前期	単位数	2
			オフィスアワー		月3～5	D306研究室(澤田)	
授業概要	人体の正常構造の理解のため、人体を構成する各器官の微細構造、肉眼解剖的構造、身体における有機的なつながりを系統立てて解説する。細胞や組織など人体の構成単位と人体の初期発生について学習した後、動物性器官として神経系、感覚器系、筋骨格系について、植物性器官として循環器系、呼吸器系、消化器系、泌尿器系、免疫系、生殖器系、内分泌系について学び、看護師として必要な解剖学の基礎知識を身に付ける。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること。 予習復習は、指定の教科書を参考に、事前に配布した授業資料を用いて行うこと。 実習については、毎回の到達目標と学習内容を十分に理解しておくこと。						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	総論	【到達目標】解剖学の基礎的知識を習得する。【学習内容】人体の階層性と器官の系統、体の区分、方向を表す用語、解剖学的平面。				
	2	組織学	【到達目標】組織学の基礎について説明できる。 【学習内容】器官を構成する組織の分類と各組織の基本構造。				
	3	発生学	【到達目標】ヒトの初期発生について説明できる。 【学習内容】ヒトにおける胚子の発生と胚葉の分化。				
	4	骨格系①	【到達目標】骨、関節の基本構造と、構造に基づく機能を説明できる。 【学習内容】骨の性状、発生・成長、基本構造、骨どうしの連結。				
	5	骨格系②	【到達目標】人体を構成する主な骨と関節の構造、位置、作用を説明できる。 【学習内容】全身の骨および主な関節の構成、構造、作用。				
	6	筋系①	【到達目標】骨格筋の基本構造について説明できる。 【学習内容】骨格筋の顕微解剖的および肉眼解剖的基本構造。				
	7	筋系②	【到達目標】全身の主な筋の名称と位置、作用を説明できる。 【学習内容】人体各部の主な筋の構造、働き、支配神経。				
	8	骨学実習	【到達目標】人体における骨や関節の構成、形状について骨格標本を用いて説明できる。				
	9		【実習内容】人体の骨格標本の観察。				
	10	末梢神経系	【到達目標】末梢神経の分類と構成について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】脊髄神経、脳神経の各末梢枝の走行・分布・機能の概略。				
	11	中枢神経系	【到達目標】中枢神経系の構成と各部の構造の詳細について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】脳(大脳、間脳、脳幹、小脳)および脊髄の構造と機能、および髄膜の構成と構造。				
	12	体表解剖(実習)	【到達目標】体表から観察および触察が可能な解剖学的構造を説明できる。				
	13		【実習内容】自分の身体の体表の観察・触察。				
	14	感覚器系	【到達目標】感覚器系各器官の構造を機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】皮膚、眼球、耳(外耳、中耳、内耳)、鼻の構造の詳細。				
	15	小動物の解剖	【到達目標】胸腹部内臓の臓器の原位置、構造、有機的な繋がりについて系統立てて説明できる。【実習内容】小動物(マウス)を解剖し、胸腹部内臓を肉眼解剖的に観察。				
	16						
	17	局所解剖	【到達目標】胸腹部器官の局所解剖的位置関係と胸膜・腹膜との関係を説明できる。 【学習内容】椎骨の高さを基準とした主な胸腹部内臓の位置と動脈分枝位置。人体の漿膜(心膜、胸膜、腹膜など)の構造。				
	18	呼吸器系	【到達目標】呼吸器系の構成と構造について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】上気道(鼻腔、咽頭、喉頭)および下気道(気管、気管支)の構造の詳細。				
	19	血球の観察・分類	【到達目標】血液の液体成分の性状と、血球の数や血球の形状による分類について説明できる。				
	20		【実習内容】血液塗末標本の作成と顕微鏡による血球の観察・スケッチ。				
	21	消化器系	【到達目標】消化管の構成と構造、解剖学的な繋がりについて機能と関連付けて説明できる。消化付属器官の構成と構造、消化管との解剖学的な繋がりについて機能と関連付けて説明できる。【学習内容】消化管(口腔、食道、胃、小腸、大腸など)および消化付属器官(唾液腺、肝臓、膵臓、胆嚢など)の構造の詳細。				
	22	循環器系①	【到達目標】心臓の構造の詳細、栄養血管について説明できる。 【学習内容】心臓の各部屋と弁の構造、冠状動静脈の分布と支配域、刺激伝導系を構成する構造。				
	23	循環器系② 免疫系	【到達目標】末梢循環系の構成と分布について説明できる。免疫系各器の構成と構造、末梢循環系との関連について述べるができる。 【学習内容】肺循環、体循環、リンパ循環を構成する主な動静脈と主なリンパ管の走行と支配域。主な免疫系器官(胸腺、脾臓など)および組織(リンパ節、集合リンパ小節、扁桃など)の構造。				
	24	組織実習	【到達目標】肝臓、腎臓および膵臓の組織構造を説明できる。				
25	【実習内容】肝臓、腎臓および膵臓の顕微解剖的観察とスケッチ。						

授業計画	26	内分泌系	【到達目標】内分泌系各器官の構造を機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】下垂体、甲状腺、膵臓、副腎、精巣、卵巣などの内分泌器官の構造の詳細と、これらの機関から分泌されるホルモン。	
	27	生殖器系	【到達目標】男性および女性の内・外生殖器の構成と構造について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】男性生殖器(精巣、精巣上体、精嚢、陰茎など)と女性生殖器(卵巣、子宮、膣など)の構造の詳細および機能の概略、会陰の構造。	
	28	心臓の構造・実習	【到達目標】心臓の基本構造について模型標本を用いて説明できる。	
	29		【実習内容】心臓の外形および内景の観察とスケッチ。	
	30	泌尿器系	【到達目標】泌尿器系各器官の構造について機能と関連付けて説明できる。 【学習内容】腎臓および排尿路(尿管、膀胱、尿道)の構造の詳細。	
成績評価の方法・基準	中間テスト(45%)、期末試験(50%)、実習レポートなど(5%)			
教科書	コメディカル専門基礎科目シリーズ 解剖学	澤田和彦、坂田ひろみ 編	理工図書	
参考図書				
教員からのメッセージ	授業の進度、その他必要性に応じて内容を変更することがあります。 実習レポートは、コメント等を付して返却します。 昨年度の授業評価アンケート結果に基づき改善を施します。			